

静岡県

シニア災害ボランティア
シンポジウム開催報告

平成27年11月27日（金）、静岡県総合研修所もくせい会館1F富士ホールにて静岡県と当協会主催による「シニア災害ボランティアシンポジウム」が開催されました。

冒頭に主催者を代表して静岡県危機管理監兼危機管理部長の外岡達朗氏と当協会常務理事の廿日岩信次が挨拶し、続いて認定特定非営利活動法人レスキューストックヤードの栗田暢之代表理事による基調講演と各パネリストによるパネルディスカッションが行われました。



栗田 暢之 氏

認定特定非営利活動法人

レスキューストックヤード代表理事

阪神・淡路大震災でボランティアのコーディネートを務めて以降、自然災害の現場で支援活動を展開。現場での学びを生かし、地域防災力の向上や災害ボランティアの育成等に尽力している。東日本大震災支援全国ネットワーク（JCN）代表世話人、愛知県被災者支援センター長なども務める。

基調講演

14:05～15:05

災害ボランティアの役割と課題

認定特定非営利活動法人レスキューストックヤード

代表理事 栗田 暢之 氏

パネルディスカッション

15:15～16:45

静岡県における災害ボランティアの
取組みと今後の課題

【コーディネーター】

認定特定非営利活動法人レスキューストックヤード

代表理事 栗田 暢之 氏

【パネリスト】

社会福祉法人静岡県社会福祉協議会

福祉企画部地域福祉課長 西村 慎言 氏

特定非営利活動法人静岡県ボランティア協会

事務局長 鳥羽 茂 氏

西伊豆町災害ボランティアコーディネーター連絡会

代表 仲田 慶枝 氏



基調講演では①災害ボランティアは着実に社会に定着してきていること。②水害対応ではある程度のノウハウの蓄積があるが、避難が長期化する大震災のような広域災害については役割・機能とも途上段階にあること。③地域に信頼があるコーディネーターやリーダーが必要なこと。などを講演いただきました。

パネルディスカッションでは「社協について～日常からの活動と地域の中での支え合い～」静岡県における災害ボランティアの取組」「西伊豆町の災害概況、取り組み」地域に役立とうと思えば生きることを考える。無理しない。でも、続ける～」など、各方面から貴重なご意見をいただきました。今後のボランティアの在り方などを考えるうえで大変参考となる講演となりました。